

市区長会役員



会長代理（副会長）
清水邦昭（上鳥羽）



副会長
那須 誠（穂高町）



副会長
那須野卯久（楡）



副会長
矢澤 昇（倉田）

市内 83 区の区長

豊科地域（23区）
清水邦昭（上鳥羽）、丸山律（下鳥羽）、中林護（本村）、遊橋洪基（吉野）、山口高史（成相）、坂横正二（新田）、丸山眞登（寺所）、小穴廣光（踏入）、伊藤義典（細萱）、等々力元博（重柳）、田村浩（真々部）、高山彬（たつみ原）、竹内秀太郎（飯田）、水谷和幸（下飯田）、三原郁頼（中曾根）、中島忠（熊倉）、百瀬陽子（アルプス）、栗山常雄（徳治郎）、増沢道弘（田沢）、宮下則安（小瀬幅）、市川良一（大口沢）、長崎保彦（光）、藤田孝（桜坂）

三郷地域（14区）
杉原昭男（北小倉）、降幡宗年（南小倉）、平林久典（東小倉）、小幡恒男（室町）、久保田正孝（野沢）、戸川博（上長尾）、大倉淳男（下長尾）、那須野卯久（楡）、児島邦夫（住吉）、丸田還三（七日市場）、宮島博昭（一日市場）、塚田哲丸（二木）、伊藤一登（及木）、植原正道（中萱）

穂高地域（23区）
小松三郎（矢原）、佐藤喜四郎（白金）、望月久義（等々力）、市川直哉（等々力町）、那須誠（穂高町）、窪田征二（穂高）、胡桃秀行（橋爪）、林聖樹（耳塚）、竹内清次（富田）、北澤貞雄（豊里）、矢野口陽一（小岩嶽）、平林達男（嵩下）、赤沼生敏（新屋）、太田和男（古厩）、松井壯介（立足）、熊井深男（柏原）、相田健一（久保田）、児玉富夫（塚原）、藤原大令（牧）、川上富三（柏矢町）、武井史守（島新田）、藤岡亀雄（青木花見）、高橋一守（狐島）

明科地域（14区）
越後光（大足）、丸山光男（光）、内川勝治（宮中）、望月靖弘（町）、腰一永（明科）、関剛（潮）、滝沢文芳（潮沢）、塩入節雄（木戸）、望月正勝（上生野）、宮下淳（上押野）、丸田健三（下押野）、柳原春喜（塩川原）、原宗弘（荻原）、遠藤宏一（南陸郷）

一住み続けたい地域づくりを目指して— 市区長会総会を開催



市区長会総会が5月26日、県安曇野庁舎で開かれ、本年度の役員や事業計画などを決めました。市区長会は、市内83区を代表する区長で構成し、共通する課題の情報交換や相互調整などを行っています。

就任あいさつで内川会長は、東日本大震災を取り上げ、「各区で災害時に対応できる地域づくりを進めるため、隣組組織の強化、避難場所などの確認を検討してほしい」と話しました。

住民自治組織のリーダー
区長会長に聞く

市内83区の区長がそれぞれ選出されました。市区長会へお話しをうかがうとともに、本年度の市区長会役員と、83区の区長の皆さんを紹介します。（敬称略）

—どんな区長会にしていきたいですか？

最初に理事会で会長要請の発言が出された時、大きな責任を背負ったと感じました。3代目区長会長として、河村元会長、竹内前会長の考え方を踏襲しつつ、自分らしさが出せたらと思います。各区の役割は、行政と住民の調整だけではありません。地域の活動が活発化しなければ安曇野市の発展は、あり得ないと思っています。

また、各区では、さまざまな地域課題を抱えています。区長同士が課題を共有し、話し合う

人と人との絆を取り戻し、安心して暮らせる地域に。

機会をもっと設けるなど、自主性のある区長会を作りたいと思っています。

—何のために地域活動はあると思いますか？

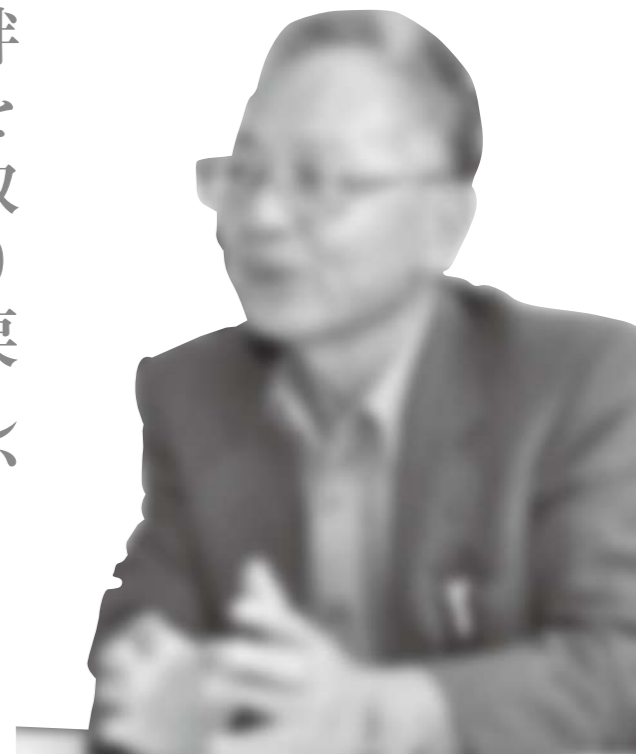
地域活動への参加を通じ、住民が協力して「安心安全に生活ができる」と思うまちにしていることにあります。自分たちの動することで、生活の基盤づく

—市のまちづくりを進めるうえで、区のまちづくりは、どんな役割を担うと考えますか？

区は行政と連携し、さまざまな問題に対処しています。行政の支援を活用し、できることは自ら行う努力が必要です。合併6年目を迎え、市では条例や制度などが整備され、市として方向性が示されてきま

—市民へのメッセージを。

安心して暮らせる地域社会にするには、人と人との絆を取り戻すことが必要です。「互助・共助・自助」の精神で地域コミュニティづくり、隣組などの組織強化を目指し、83区の区長さんと共にごんばります。市民の皆さんもぜひ地域活動へ参加をお願いします。



会長
かつはる
内川勝治（宮中）

【プロフィール】平成17年から宮中区区長に就任。平成20年から明科地域区長会長。「区の取り組みを通じ、住民が支え合う心の構築を」と抱負を語ります。